

2026年7月23日

富士山静岡空港にリモコン式航空機牽引機材「Mototok」を導入 ～航空機地上支援業務の効率化を実現～

1 概要

富士山静岡空港では、国土交通省の地方空港等受入環境整備事業費補助金を活用し、全国的に問題となっているグランドハンドリングスタッフの人員不足の解消を目的として、リモコン式航空機牽引機材を新たに導入します。同機材の導入により、航空機のプッシュバックや格納庫への移動など、地上支援業務の効率化を図ります。

2 導入の背景

航空機の牽引作業では、従来はトーイングカーを使い運転席に作業員が乗り込み操作を行う必要があり、さらに安全確保のため複数名の作業員が連携する体制が求められていました。今回導入するリモコン式航空機牽引機材では

- ・リモコンによる遠隔操作が可能で、複雑な運転技術を必要とせず、訓練期間の短縮が可能
- ・操作者の視認性向上による安全性の向上
- ・作業効率の向上による省人化に貢献

(※従来のトーイングカーの運用では出発作業に関わる作業員が3名体制だったところ、本機材では2名体制が可能となります。)

・電動式のため、CO₂排出量及び騒音の低減に寄与
といった特徴を備えており、地上支援業務の安全性向上、生産性向上及び環境負荷低減に寄与します。

3 新規導入する機材の概要

- ・製造メーカー: Mototok International GmbH 社
- ・品名: SPACER 8600 NG
- ・最大牽引重量: 105t
- ・全幅: 2,800mm、全長: 3,555mm、高さ: 701mm
- ・対応機種: B737, B737MAX, A320 Family, A321 NEO
Embraer E-Jets
- ・充電時間: 6-10 時間
フル充電で約 30-50 回のプッシュバックが可能



4 取材受付

メディア公開 2026年7月28日(火) 午後3時30分から午後4時30分

FDA145便(定刻: 午後4時15分発)の出発時のオペレーションをご見学いただきます。

取材希望の方は、7月27日(月)正午までに富士山静岡空港ホームページの取材申込フォームより直接お申込みください。

取材申込フォーム(下記 URL)よりお申し込みください。

<https://www.mtfuji-shizuokaairport.jp/enjoy/play/toll-facilities-33378/>

<本件に関するお問い合わせ先>

富士山静岡空港株式会社 航空営業部 航空営業ユニット 高橋(惇)
TEL: 0548-29-2004